

# 健診から健康づくりを

## はじめましょう(2)

先月号から引き続き健診についてお話しします。今回はB型・C型肝炎検査についてです。

### 日本人の肝臓病の多くはウイルス性肝炎

肝臓に炎症が起き、肝細胞が壊れて働きが悪くなる病気を肝炎と言います。肝臓病といえばお酒の飲みすぎを思い浮かべる人が多いと思いますが、日本で最も多い肝臓病はウイルスによる肝炎です。

### B型、C型肝炎が慢性化する と肝硬変、肝臓がんの危険も

日本では、B型肝炎ウイルス(HBV)に約150万人、C型肝炎ウイルス(HCV)に約200万人が感染しているといわれています。



しかし、ほとんどの感染者が感染が持続している状態(肝炎ウイルスキャリア)で、感染を自覚していません。感染したまま放っておくと、肝臓の細胞が徐々に壊され、肝硬変や肝臓がんへと進行するケースもあります。中には自然に治る人もいますが、初期の段階で発見して肝臓の状態を把握できれば、病気を治すこともコントロールすることも可能です。

大切なのは検査を受けて感染の有無を知ることです。肝臓の異常を早期に見つけるためにもB型・C型肝炎検査を受けましょう。



一度検査をした方は再び検査をする必要はありません

今日の日本では、医療現場でも日常生活の場でも新たにB型、C型肝炎に感染する可能性は極めて低く、検診結果で「現在C型肝炎ウイルスに感染していない可能性が極めて高い」と判定された人は、再度検査を受けなくても大丈夫と考えられます。また、すでに感染していると分かっている方も検査は不要です。

どうやって感染するの？  
感染経路は？

B型肝炎は感染者の血液、体液を介して感染します。ほかには母子感染や性行為感染があります。C型肝炎は感染者の血液を介して感染します。以前は輸血による感染が多かったのですが、1992年以降は精度の高い検査が実施されています。

### もし感染したら

大部分の人は程度が軽くただちに本格的な治療が必要というものではありません。また、すぐに肝硬変や肝臓がんに移ったり、肝臓病で死亡するという訳ではありません。また最近では治療法も大変進歩しております。病院で継続的に診察を受け、その診断によって経過を観察したり、治療していくことが必要です。

### 他人への感染を防ぐために

肝炎ウイルスは日常的な接触で感染することはありません。日常的な衛生習慣を守ることが感染は防ぐことができます。他人への感染を防ぐために以下のことに気をつけましょう。血液や分泌物のついたものはしっかりと洗って流水でよく洗い流す。

傷や鼻血などではできるだけ自分で手当てする。

カミソリ、歯ブラシなどの日用品を共用しない。乳幼児に口移しで食べ物を与えない。

献血はしない。

(健康課

855・1755)

保健師だより

### 予防接種のお知らせ

小学4・6年生、

中学3年生の皆さんへ

ジフテリア、日本脳炎2期・3期の予防接種を受けましょう。

### ジフテリア

幼児期に基礎免疫を完了し、追加免疫として小学6年生で受けます。

### 日本脳炎2期・3期

幼児期に基礎免疫を完了し、追加免疫として小学4年生、中学3年生で受けます。

